2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　朝日インテック株式会社　　上場取引所　　東・名
コ ー ド 番 号　　7747　　URL　https://www.asahi-intecc.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長CEO　　（氏名）　宮　田　憲　次
問合せ先責任者　（役職名）　取締役CFO管理本部長　（氏名）　伊　藤　瑞　穂　　(TEL)(0561)56-1851
配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	43,729	21.3	17,569	34.8	17,909	39.0	12,706	38.0
2026年６月期第１四半期	36,058	15.6	13,035	34.0	12,887	47.0	9,205	35.7

(注) 包括利益　2027年６月期第１四半期　9,896百万円(　△16.1%)　2026年６月期第１四半期　11,795百万円(　360.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	47.89	―
2026年６月期第１四半期	34.37	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	207,106	171,455	82.3
2026年６月期	218,285	174,358	79.4

(参考) 自己資本　2027年６月期第１四半期　170,523百万円　　2026年６月期　173,406百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	48.24	48.24
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	49.91	49.91

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,794	11.3	52,127	15.3	52,600	16.4	37,832	17.9	142.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	265,332,300株	2026年６月期	265,332,300株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	7,977株	2026年６月期	7,977株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	265,324,323株	2026年６月期１Ｑ	267,814,831株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（収益認識関係） …… 9
（重要な後発事象） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループは、中期経営計画「Building the Future 2030」における成長戦略を着実に推進することで、2027年６月期においても、高い成長性を維持し、企業価値の拡大に努めていく所存です。

当社グループの当第１四半期連結累計期間の業績は好調に推移し、下記となっております。

売上高は、メディカル事業及びデバイス事業がともに好調に推移したことに加え、為替相場がプラス影響に寄与したことにより、437億29百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

売上総利益は、売上高の増加や生産性改善、為替相場のプラス影響などによる売上総利益率の上昇に加え、一時的要因として過年度に支払った関税の還付による売上原価の減少及び貯蔵品の管理方法の変更に伴う売上原価の増加もあり、323億７百万円（前年同期比27.0%増）となりました。なお、為替相場のプラス影響や、これらの一時的な要因を除いても、売上総利益率は前年同期を上回っております。

営業利益は、販売強化を目的とした営業関連費用の増加や、経営基盤強化を目的とした人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上総利益の増加がこれを上回り、175億69百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

経常利益は、営業利益の増加に加え、為替差損の減少及び為替差益の増加などにより、179億９百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に伴い、127億６百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

なお、当第１四半期連結累計期間における外国為替レート実績は、下記となります。

１米ドル＝159.41円（前年同期147.45円、比8.1%増）

１ユーロ＝183.45円（前年同期172.28円、比6.5%増）

１中国元＝23.63円（前年同期20.60円、比14.7%増）

１タイバーツ＝4.79円（前年同期4.56円、比5.0%増）

セグメントごとの経営業績は次のとおりであります。

（メディカル事業）

メディカル事業は、国内・海外ともに循環器・非循環器領域で売上高が増加し、為替相場のプラス影響もあって、増収となりました。

国内市場においては、循環器領域ではPCIガイドワイヤーを中心に増加し、非循環器領域では末梢血管領域の仕入製品や消化器領域の製品が好調に推移しました。

海外市場においては、循環器領域ではPCIガイドワイヤーを中心に全地域において、売上高が増加しました。なお、中国地域や、欧州地域のうち東欧については、前年同期の代理店向け販売が高水準であり、またその他地域においては当第１四半期連結累計期間の販売が高水準であるなど、代理店向け販売のタイミングに伴う四半期ごとの変動がありますが、総じて順調に推移しております。非循環器領域では、腹部・末梢血管・脳血管の全ての領域で売上高が増加しました。

以上の結果、売上高は384億38百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

また、セグメント利益は、185億53百万円（前年同期比48.4%増）となりました。

（デバイス事業）

デバイス事業は、医療部材・産業部材ともに売上高が増加し、為替相場のプラス影響もあって、増収となりました。

医療部材については、米国向け循環器系検査用カテーテル部材や、アジア向け循環器系超音波カテーテル部材の取引が増し、売上高が増加いたしました。

産業部材については、国内市場の建築関連・自動車関連取引や、海外市場のレジャー関連取引が増加し、売上高が増加いたしました。

以上の結果、売上高は52億91百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

また、セグメント利益は、外部顧客への売上高は増加したものの、貯蔵品の管理方法の変更に伴う売上原価の増加などにより、13億72百万円（前年同期比44.4%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産額が2,071億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億79百万円減少しております。主な要因は、原材料及び貯蔵品が18億72百万円、受取手形及び売掛金が12億64百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が144億79百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、負債合計額が356億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ82億76百万円減少しております。主な要因は、未払法人税等が36億58百万円、賞与引当金が23億41百万円、その他の流動負債が23億６百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、純資産合計額が1,714億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億２百万円減少しております。主な要因は、為替換算調整勘定が26億34百万円、その他有価証券評価差額金が１億25百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期連結累計期間の業績は、事業が好調に推移したことに加え、円安による為替相場のプラス影響もあり、売上高及び各段階利益ともに計画を上回る進捗となりました。

売上高は、メディカル事業において、日本・欧州・その他（アジア・中東など）を中心として全地域で計画を上回りました。日本では全般的に順調に推移したほか、欧州及びその他（アジア・中東など）地域について代理店販売による四半期ごとの売上変動が見られる中、計画を上回りました。加えて、円安による為替相場のプラス影響も売上高を押し上げました。

売上総利益は、売上高の増加や円安による為替相場のプラス影響などにより、計画を上回っております。なお、為替相場の影響に加え、過年度に支払った関税の還付による売上原価の減少及び貯蔵品の管理方法の変更に伴う売上原価の増加といった一時的な要因を除いた売上総利益率は、ほぼ計画通りに推移しております。

販売費及び一般管理費は、当第１四半期連結累計期間において、研究開発費を中心に費用計上時期のずれが生じておりますが、通期では概ね計画どおりに推移する見込みです。

以上のとおり、当第１四半期連結累計期間の業績は計画を上回って進捗しているものの、代理店販売に伴う四半期ごとの売上変動や為替相場の動向、今後の費用計上などを踏まえ、通期業績への影響については引き続き精査する必要があることから、現時点では2026年８月14日に公表した通期連結業績予想を据え置いております。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,264	49,784
受取手形及び売掛金	18,923	20,188
電子記録債権	2,080	2,180
商品及び製品	10,111	9,594
仕掛品	10,482	11,028
原材料及び貯蔵品	9,240	11,112
その他	6,791	7,629
貸倒引当金	△325	△332
流動資産合計	121,569	111,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,518	33,598
その他（純額）	28,568	28,787
有形固定資産合計	63,087	62,385
無形固定資産	5,118	4,852
投資その他の資産	28,510	28,682
固定資産合計	96,716	95,920
資産合計	218,285	207,106

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,652	4,171
電子記録債務	1,242	1,276
短期借入金	2,357	2,292
未払法人税等	7,416	3,758
賞与引当金	4,062	1,721
その他	12,392	10,085
流動負債合計	32,124	23,305
固定負債		
長期借入金	4,275	3,745
役員退職慰労引当金	19	19
退職給付に係る負債	3,147	3,181
資産除去債務	201	201
その他	4,159	5,197
固定負債合計	11,803	12,345
負債合計	43,927	35,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,860	18,860
資本剰余金	18,872	18,872
利益剰余金	111,434	111,341
自己株式	△18	△18
株主資本合計	149,148	149,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,429	2,303
為替換算調整勘定	21,601	18,967
退職給付に係る調整累計額	227	196
その他の包括利益累計額合計	24,258	21,467
非支配株主持分	951	931
純資産合計	174,358	171,455
負債純資産合計	218,285	207,106

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	36,058	43,729
売上原価	10,621	11,422
売上総利益	25,436	32,307
販売費及び一般管理費	12,401	14,737
営業利益	13,035	17,569
営業外収益		
受取利息	39	82
受取配当金	4	―
為替差益	―	283
その他	120	87
営業外収益合計	164	452
営業外費用		
支払利息	39	30
為替差損	185	―
貸倒引当金繰入額	47	36
その他	39	45
営業外費用合計	312	112
経常利益	12,887	17,909
特別損失		
投資有価証券売却損	6	―
特別損失合計	6	―
税金等調整前四半期純利益	12,881	17,909
法人税、住民税及び事業税	2,375	3,860
法人税等調整額	1,277	1,323
法人税等合計	3,652	5,184
四半期純利益	9,228	12,725
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,205	12,706

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	9,228	12,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	393	△125
為替換算調整勘定	2,189	△2,672
退職給付に係る調整額	△16	△30
その他の包括利益合計	2,566	△2,828
四半期包括利益	11,795	9,896
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,768	9,915
非支配株主に係る四半期包括利益	26	△19

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,669	4,389	36,058	―	36,058
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	4,268	4,268	△4,268	―
計	31,669	8,658	40,327	△4,268	36,058
セグメント利益	12,504	2,471	14,976	△1,940	13,035

（注）１　セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	メディカル事業	デバイス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,438	5,291	43,729	―	43,729
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	4,624	4,624	△4,624	―
計	38,438	9,916	48,354	△4,624	43,729
セグメント利益	18,553	1,372	19,926	△2,356	17,569

（注）１　セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	2,195百万円	2,134百万円
のれんの償却額	28百万円	―

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(1)種類別の内訳

前第１四半期連結累計期間　(自　2025年７月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
循環器	24,245	―	24,245
非循環器	5,276	―	5,276
OEM	2,146	―	2,146
医療部材	―	2,785	2,785
産業部材	―	1,603	1,603
合計	31,669	4,389	36,058

当第１四半期連結累計期間　(自　2026年７月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
循環器	28,274	―	28,274
非循環器	7,300	―	7,300
OEM	2,862	―	2,862
医療部材	―	3,204	3,204
産業部材	―	2,087	2,087
合計	38,438	5,291	43,729

(2)地域別の内訳

前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
日本	4,012	951	4,963
北米	6,016	1,420	7,437
欧州	7,608	156	7,765
中国	9,598	202	9,800
その他	4,433	1,657	6,091
合計	31,669	4,389	36,058

当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	メディカル事業	デバイス事業	計
日本	4,535	1,123	5,659
北米	8,192	1,989	10,181
欧州	8,235	160	8,395
中国	12,032	62	12,094
その他	5,442	1,955	7,397
合計	38,438	5,291	43,729

(重要な後発事象)

該当事項はありません。